



しばた議会だより



余震の続く中 ホッと一息

(船岡城址公園 コミュニティガーデン「花の丘」)

■3月定例議会	2~5
・平成23年度当初予算	
・震災下の異例の議会（ルポ）	
■震災関連補正予算	5
■議会の出欠状況・議案の審議結果	5
■第2回臨時議会（各委員会委員の改選）	6
■一般質問（14人）	7~14
■常任委員会レポート	15
■あなたの一言（水戸忠孝さん）	16

平成23年3月11日の東日本大震災により、被災された皆さまにお見舞いを申し上げます。亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。

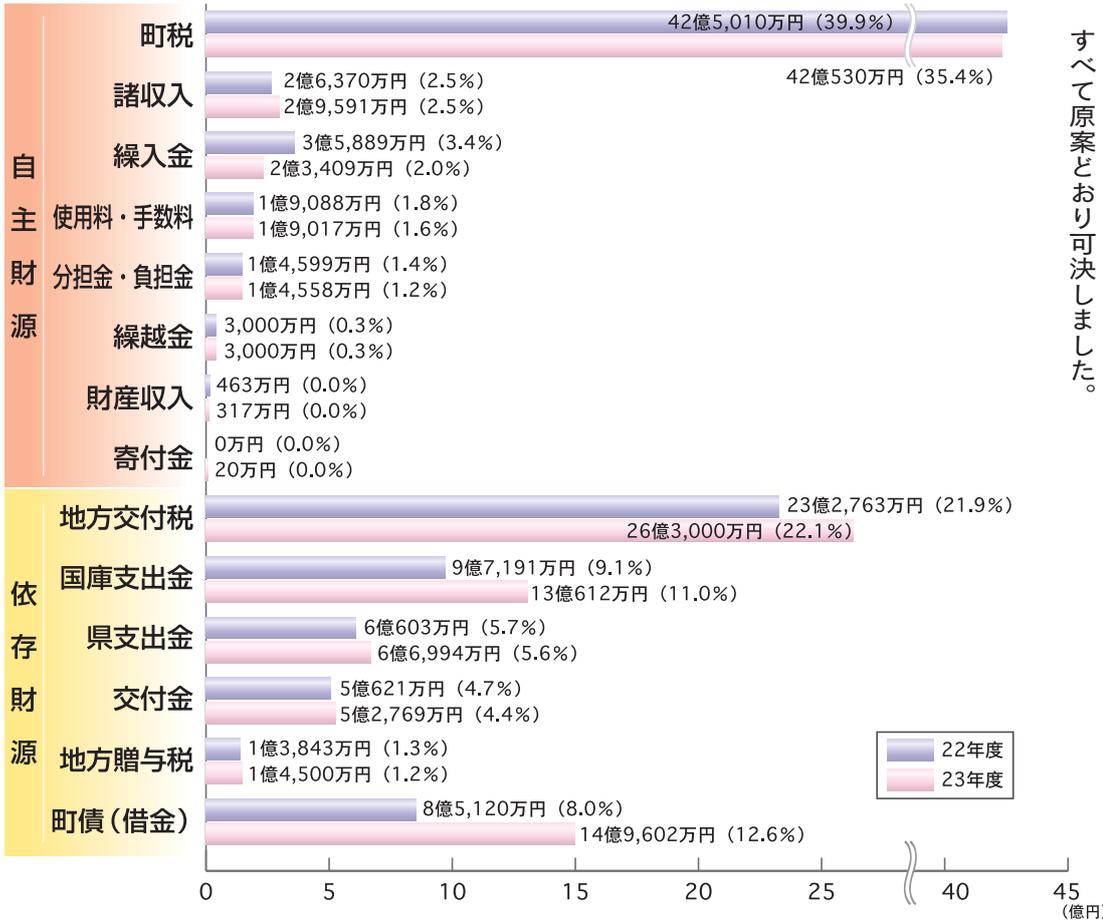
(お詫び) 今号は、東日本大震災の影響により5月1日発行を6月1日発行に変更させていただきました。

のなかで異例の議会

総額 **118億円** で 23年度予算スタート

総額 **118億7,918万円**

歳 入



平成23年3月議会は、3月7日に開会、11日の東日本大震災のため休会や会期延長など、30日まで大きな変更での日程となりました。平成23年度一般会計当初予算は、本年4月からの第5次柴田町総合計画に基づく予算計上となり、北船岡町営住宅2号棟建設事業、槻木中学校校舎改築工事に着手するなど、大型事業への取り組みが始まることから、前年度比11・6%の増となりました。各会計の当初予算額は下表のとおりで、異例の審議となりましたが、すべて原案どおり可決しました。

各会計の当初予算額

会計区分	平成23年度	平成22年度	
一般会計	118億7,918万円	106億4,559万円	
特別会計	国民健康保険事業	36億9,366万円	34億8,326万円
	老人保健	—	27万円
	公共下水道事業	15億402万円	16億511万円
	介護保険	21億6,880万円	18億8,022万円
	後期高齢者医療	3億215万円	3億632万円
水道事業会計	13億6,503万円	13億6,051万円	
予算総額	209億1,287万円	192億8,130万円	

※端数切り捨て表示のため、各会計の合算額と予算総額は合致しない。

ルポ

頻発する余震の中、停電で本会議場も使えず異例の本会議

3月14日、議会事務局長の直筆の議会開催文書を見て集まった議員は、全員の無事を確認した後、東日本大震災で亡くなった人々に黙祷をささげた。役場5階の本会議場は停電で使えず、2階の特別会議室で本会議を開催した。

町長、執行部は震災対策で対策本部詰め、当然傍聴者はなし。全議員と議会事務局長だけで他の議会事務局職員は各給水所のスタッフで出払っている。異例中の異例の本会議が始まった。

本会議開催中余震が絶え間なくやってくる。「もしかしたら大きな余震がくるのではないか」そんな思いもよぎるが、会議は進んでいく。

議題は平成23年度一般会計と各会計予算案。「質疑ありませんか」議長の声、「なし」、「討論ありませんか」、「なし」、採決の結果、全会一致で予算案を可決した。

通常であれば三日間で多くの質疑が行われる予算審査特別委員会の日程を省いて「早く復旧、復興に取り組む」、そんな思いの全会一致だった。

東日本大震災

余震、停電、断水

一般会計で槻木中学校建てかえ事業など



陥没した歩道(清住町)



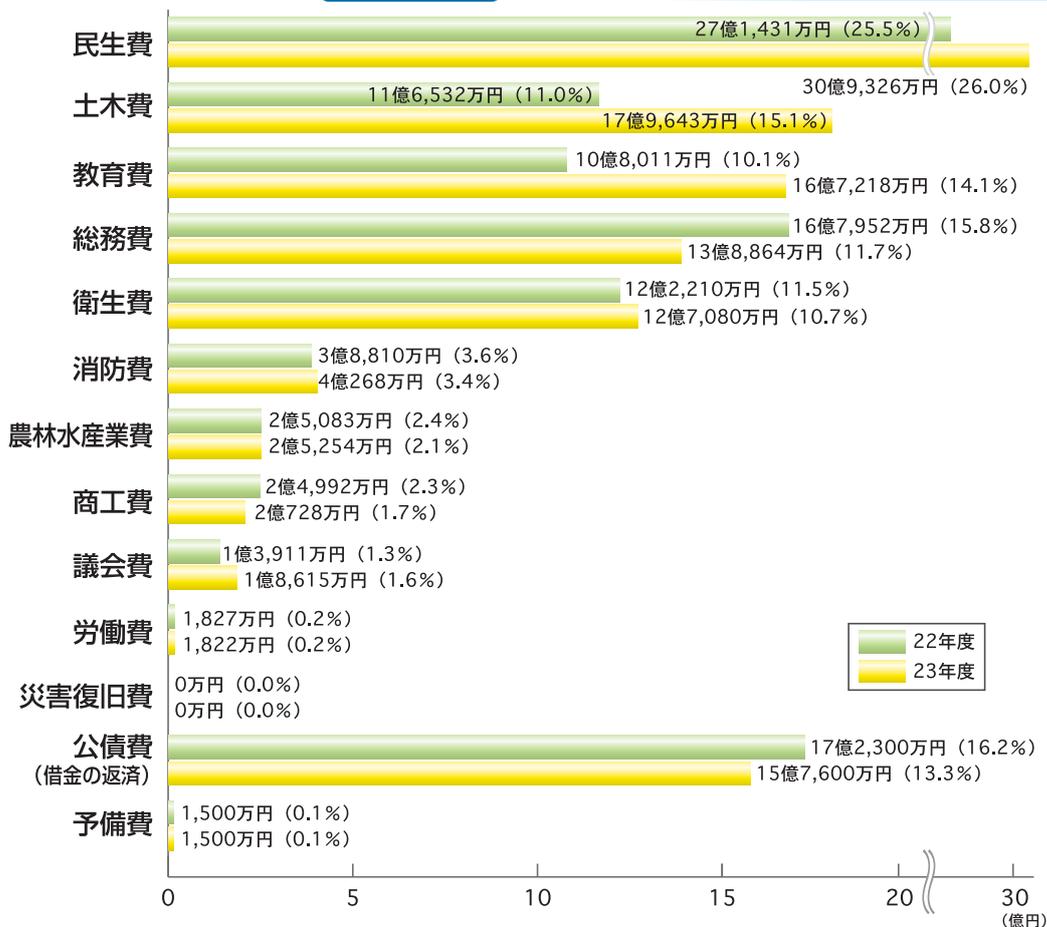
給水には長蛇の列が



学校にも大きな被害(船迫小学校)

歳出

23年度一般会計当初予算



震災関連補正予算

23年度
補正予算

第3回臨時議会を4月28日に開催
被災者支援制度などに
4億3,000万円増額

●主な東日本大震災支援制度

制度の名称	補正額	内容
災害弔慰金	3,500万円	災害で死亡された方のご遺族に支給
災害援護資金貸付金	1,510万円	世帯主が災害で負傷し、住居、家財の損害を受けた方に生活再建に必要な資金を貸し付け
住宅災害応急修理	2,600万円	被災した住宅を住めるようにするための応急修理
震災復興商品券発行事業補助	1,000万円	町商工会が実施する震災復興商品券発行事業への補助
震災住宅改修事業補助	3,000万円	住宅が被災し、20万円以上の修理費用が必要な世帯に10万円を補助
中小企業者東日本大震災対策資金利子補給 (債務負担)	1,270万円	被災した中小企業者等が借り受ける運転資金、設備資金等の融資に対する利子補給

※詳細は、町からの広報紙等で確認してください。

22年度
補正予算

緊急災害対策のため
総額1億円の増額

震災対策が緊急を要するため、3月20日(日)の休会中に3月議会を開催しました。

震災対応により町長他職員3名と全議員の出席での審議となり、一般会計・特別会計など総額1億円の増額補正を可決しました。

会計区分	補正額	内訳
一般会計	2,000万円	・公共下水道事業特別会計への繰出金 210万円 ・予備費 1,790万円
公共下水道事業特別会計	210万円	・予備費
水道事業会計	8,000万円	・予備費

総括質疑

問 長期的に見通した財政は盤石か

- (1) 未来への投資を積極的に行うと言っているが、財政再建の目鼻がついたといえども、将来を見通した財政は盤石と判断するのか。
- (2) 農村集落づくりプロジェクトの具体的な取り組み内容は、
- (3) 農工商連携により地域の特性を生かした
- (4) 今年を観光元年と位置づけ、集客に努めるとあるが、そのセールスポイントと集客対策は、

答 将来に向けた投資事業は有益と判断

- (1) 盤石とまでは言えないが、投資事業を実施することは町経済への波及効果や資産形成の観点からも有益と判断している。
- (2) モデル地区を設定し、地域の現状分析を行い、農業・農村の機能回復と持続発展を推進し、集落営農を考え
- (3) 地場産品開発委員会などの支援を行うとともに、異業種間のマッチング機会を図っていく。
- (4) 船岡城址公園施設などのハードの魅力を活用し、物産交流館内で展開されるソフト事業の魅力セールスポイントとして集客力アップに努める。



高橋たい子 議員

総括質疑

問 地方交付税など予算の財源確保はできるのか

- 国の地方財政計画を見ると、地方予算が頭打ちで財源確保に懸念が残る。
- (1) 町税収入減が予想されるなか、財源の確保に問題が起きる可能性はないのか。
- (2) 地方再生対策費の削減の影響は、
- (3) 平成18年度から続
- (4) 年間の借金の返済額が増えてきている。財政規律を守れるのか。
- (5) 投資的経費に回せる予算があるならば国民健康保険事業特別会計に繰り入れをして税額を減らせないか。

答 税収減に対する国の十分な措置を要望する

- (1) 町税で約1億円程度減額と見ているが、国の地方財政対策を見ても歳入が大きく不足する事態にはならないと考える。
- (2) 柴田町としては1千250万円の減額となるが影響は低いと考える。
- (3) 前期の財政再建プランで財務体質が改善
- (4) 投資的事業を行い、新たに借金をしてもピーク時と比べ借金が少なくなっていく計画になっている。財政規律は守れる。
- (5) 負担の公平性の観点から繰り入れは難しい。国庫負担の拡充を要望していく。



広沢 真 議員

総括質疑

問 平成23年度のまちづくりをどうするか

- (1) 町長の施政方針では、日本の閉塞感の打破、抱える難題、地域主権改革とある。今こそ自立の精神を発揮されるときと思うがどうか。
- (2) 第5次柴田町総合計画とリーディングプロジェクトでは、どのような組織、手法で実行計画を練り上げ
- (3) 国の予算が通らない場合の対応は。
- (4) 主な施策の概要の中に、住民参加と自治活動の実践を挙げている。これを達成させるには、まちづくり基本条例が生かされ、根づくかにかかってくると思うが、具体的取り組み内容は、

答 情報共有、参加及び協働によるまちづくりを一層促進

- (1) 地域の特性を生かしながら、健全な財政による自立した行政運営を進め、第5次柴田町総合計画を基軸に新たなまちづくりを進める。
- (2) 実施計画の策定は、前期基本計画を踏まえ、それに加えて町長マニフェストや10カ年待機
- (3) 一番痛みを強いられるのが我々地方自治体であり、国の動向を注視して対策を講じていく。
- (4) 情報共有に支えられ、参加・協働によるまちづくりを一層促進する。



佐々木守 議員

3月定例議会

本会議出欠状況・議案等審議結果

「みんなが育てる
笑顔輝く元気なまちに」

町総合計画基本構想を可決

基本構想は町が目指す将来の都市像を定め、その実現に向けた基本方向などを示すものです。

計画期間は平成23年度から8年間で、審議の結果原案どおり可決しました。

基本目標

- ・美しい都市空間の整備
 - ・教育・文化・交流都市の創造
 - ・安心ネット・地域防災の整備
 - ・地域循環型経済の推進
 - ・住民参加と自治活動の実践
- 質疑** コンパクトシティという考え方で住民が一番実感できると思うのは行政サービスが身近なところで行えるということではないか。

答弁

中学校区単位に生涯学習センターがあることで、その機能を生かせないか。

また、農村との連携では農村環境改善センター、西住公民館などで住民票交付ができないか行財政改革の中で検討したい。

平成22年度 補正予算額

会計区分	補正額	補正後の額
一般会計	△1億145万円	113億9,238万円
特別会計		
国民健康保険事業	7,237万円	39億641万円
公共下水道事業	△3,569万円	15億1,350万円
介護保険	△145万円	20億982万円

本会議出欠状況・議案等審議結果

●本会議出欠状況

区分	内容	月日	出席者数(人)	出欠状況																	
				平岡奈緒美	佐々木裕子	佐久間光洋	高橋たい子	安部 俊二	佐々木 守	広沢 真	水戸 義裕	森 淑子	大坂 三男	舟山 彰	佐藤 輝雄	星 吉郎	加藤 克明	白内恵美子	大沼 惇義	我妻 弘国	
第1回臨時議会	本会議	2/14	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	本会議	方針・一般簡	3/7	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		一般簡	3/8	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		一般簡	3/9	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		条例・補正案	3/10	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	早	
		当初予算上程	3/11	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		正副委員長の互選	3/11	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		本会議	当初予算	3/14	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			補正予算	3/20	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			条例・契約	3/30	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2回臨時議会	本会議	4/18	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

●議案等審議結果

区分	件名	議決月日	議決者数(人)	賛成(人)	賛成率(%)	議決結果	表決状況												
							平岡奈緒美	佐々木裕子	佐久間光洋	高橋たい子	安部 俊二	佐々木 守	広沢 真	水戸 義裕	森 淑子	大坂 三男	舟山 彰	佐藤 輝雄	星 吉郎
第1回臨時議会	柴田町農業委員会委員の推薦について	2/14	17	17	100	決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	柴田町住民生活に光をそそぐ交付基金全案	2/14	17	17	100	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度柴田町一般会計補正予算	2/14	17	17	100	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算	2/14	17	17	100	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度柴田町介護保険特別会計補正予算	2/14	17	17	100	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	固定資産評価審査委員の選任について	3/10	17	17	100	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	仙南地域広域行政事務組合の共同処理する事務の変更及び仙南地域広域行政事務組合規約の変更について	3/10	17	17	100	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第5次柴田町総合計画基本構想の策定について	3/10	17	17	100	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	町道路線の廃止について	3/10	17	17	100	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	町道路線の変更について	3/10	17	17	100	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第1回定例会	柴田町特別会計条例の一部を改正する条例	3/10	17	17	100	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	しばたの郷土館条例の一部を改正する条例	3/10	17	17	100	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	柴田町国民健康保険条例の一部を改正する条例	3/10	17	17	100	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	指定管理者の指定について(新大原集会所)	3/10	16	16	100	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	指定管理者の指定について(柴田町観光物産交流館及び柴田町船岡城址公園スロープカー)	3/10	16	16	100	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度柴田町一般会計補正予算	3/10	16	16	100	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度柴田町国民健康保険事業特別会計補正予算	3/10	16	16	100	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算	3/10	16	16	100	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度柴田町介護保険特別会計補正予算	3/10	16	16	100	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成23年度柴田町一般会計予算	3/14	17	17	100	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成23年度柴田町国民健康保険特別会計予算	3/14	17	17	100	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成23年度柴田町公共下水道事業特別会計予算	3/14	17	17	100	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成23年度柴田町介護保険特別会計予算	3/14	17	17	100	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成23年度柴田町後期高齢者医療特別会計予算	3/14	17	17	100	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成23年度柴田町水道事業会計予算	3/14	17	17	100	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度柴田町一般会計補正予算	3/20	17	17	100	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算	3/20	17	17	100	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度柴田町水道事業会計補正予算	3/20	17	17	100	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2回臨時議会	平成22年度二本杉町営住宅建替事業北船岡町営住宅2号棟新築工事(建築工事)(債務負担行為)請負契約について	3/30	17	16	94	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度二本杉町営住宅建替事業北船岡町営住宅2号棟新築工事(機械設備工事)(債務負担行為)請負契約について	3/30	17	16	94	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度二本杉町営住宅建替事業北船岡町営住宅2号棟新築工事(電気設備工事)(債務負担行為)請負契約について	3/30	17	16	94	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	柴田町議会委員会条例の一部を改正する条例	3/30	17	17	100	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

*「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。
*議長は予算審査特別委員にはならない。

*「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表す。
*「議」は表決時に議長のため、また「-」は表決時に議場にいないため表決に参加していないことを表す。

各委員会委員決まる

4月1日第2回臨時議会が開かれ、議長が委員を指名し各委員会での互選により、正副委員長が決まりました。

なお、今期から従来の議会広報特別委員会が、議会広報常任委員会として活動します。



委員長 大坂 三男
副委員長 水戸 義裕
委員 加藤 克明
星 吉郎
舟山 彰
廣 真
我妻 弘国
議長 白内恵美子
副議長 (議長・副議長はオフザパー) 白内恵美子



委員長 加藤 克明
副委員長 佐久間光洋
委員 森 淑子
平間奈緒美
佐藤 輝雄



委員長 星 吉郎
副委員長 高橋たい子
委員 大坂 三男
安部 俊三
舟山 彰
佐々木 守



委員長 水戸 義裕
副委員長 有賀 光子
委員 白内恵美子
廣 真
大沼 惇義
佐々木裕子



委員長 廣 真
副委員長 安部 俊三
委員 佐々木 守
高橋たい子
佐々木裕子
平間奈緒美
佐久間光洋



一般質問

ズバリ



あなたにかわって

ここが聞きたい

Q & A



一般質問は3月7日から9日までの3日間で行われ、14人の議員が質問しました。質問と答弁の内容について、その一部を掲載します。答弁者は、滝口町長、平間副町長、阿部教育長及び各担当課長等です。



大坂三男 議員

Q 交通弱者(移動困難者)と
買い物弱者(買い物困難者)
対策は

A デマンドタクシーの実験事業と
買い物マップの作成を行う



移動販売車(角田市)

最近、路線バス等の公共交通がなくなり、自由に外出する機会が少なくなる「交通弱者」問題と、地域の小規模小売店の閉店により近所での買い物が困難な状態になる「買い物弱者」問題が社会問題となっている。
高齢化が進み、家族構成や生活状態によっては誰もがこのような困難に直面する恐れがある。
高齢者や障害者が日常生活の中で不便さや困難さを強いられることのない暮らしやしやすいまちにするために、早急に具体的な施策を確立すべきである。

問 交通弱者対策は。
答 現在、新たな公共交通の実用化に向けて調査検討をしている。アンケートでは、低料金で自宅から目的地まで直接行ける公共交通を望む声が多く、本町には「デマンド型乗合いタクシー」が合っていると考える。
タクシー事業者や商工会等関係者と話し合いを進め、方向性が見えた時

点で実験事業を実施する。
問 買い物弱者対策は。
答 国の「地域支え合い体制づくり事業」を活用して、買い物弱者支援事業を計画している。
町内商店を対象とした買い物マップを作成し、各商店の配達サービスや送迎サービス等の買い物情報を提供する。その延長線上には宅配システムや移動販売車の情報提供も想定している。

去年12月の丸森町長選挙に関し、次のような新聞記事があった。「丸森町は観光に力を入れ、交流人口増加を図ったが、思ったほど地元で経済効果はなかったと町民は判断したのではないか」。

問 柴田町も「花のまち柴田」として交流人口増加を図ろうとしているが、本当に町の活性化につながるのだからか。執行部が言う10万人増加や経済効果(約6億円)の根拠を町民にわかるように



舟山 彰 議員

Q 交流人口増加は町の活性化につながらないのではないか

A 各種施策実行で増加効果を見込む



観光物産交流館は5月28日にオープン

答 詳しく説明してほしい。現在、柴田町に年間約20万人観光客が来訪しており、この数を、交流人口増加のための各種施策の実行により30万人にするよう取り組む。経済効果は一般論として、10万人の日帰り観光客が増加したとして、1人当たり約6千円の消費金額が見込めるとの指標から計算したもの。

問 館山にできる「観光物産交流館」は、赤字になる心配はないのか。

答 赤字ということは現時点で、考えていない。

問 スロープカーの運営は1年中になるのか。

答 従来よりも運行回数が多くなると考えている。

問 町民から我々議員に「さくら連絡橋」についてのアンケート調査もあり、また、町民にどのくらい説明したのかという疑問も寄せられている。

答 国の補助金内示の前には、具体的な説明はしていない。



平間奈緒美 議員

Q これからの公園整備予定は

A 新たに新栄4、5、6号公園を整備し、より良い公園づくりを目指す



どんな公園にするか23年度中に検討される新栄4号公園

公園は子どもの遊び場、お母さんたちのコミュニティションの場、さらに高齢者の憩いの場にもなっている。少子高齢化が進む中、老若男女が集える場所としても、災害時の避難場所としても公園が果たす役割は重要となる。特に高齢者が日常的に利用できる公園のニーズも高まっている。

問 健康増進や介護予防にもなる健康器具の設置などを検討してはどうか。

答 少子高齢化が進展し

ていく中で、健康づくりや心地よい居場所づくりは公園整備の重要なキーワード。特に健康増進や介護予防となる健康器具の配置が実現できるよう、県に事業計画を提出している。

問 子ども・若者の参画による居場所づくりにもなる公園整備に、中高生の意見を取り入れてはどうか。

答 これからの公園整備に関しては、ワークショップ形式で多くの方

に整備する内容や管理の仕方も含め、地域や世代によって意見、議論を深めたいと考えている。

問 公募方法や今後の進め方は。

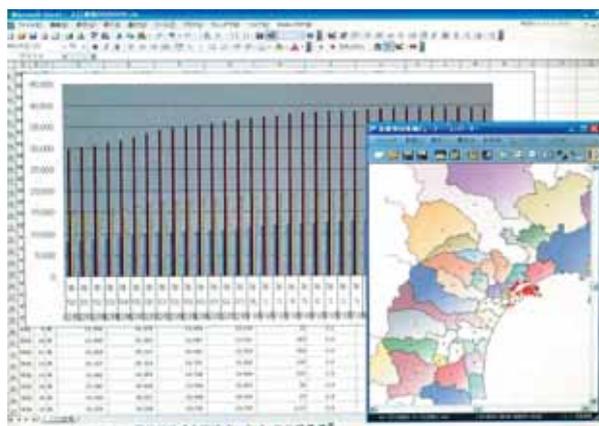
答 公募方法は未定。公園整備は平成24年度から3カ年計画となっている。平成23年度は新栄4号公園について1年前倒しでワークショップを計画している。



佐久間光洋 議員

Q 観光を含めた町の各種事業に市場分析手法の導入を

A 平成23年度から制度設計を検討し、準備を進める



各種データを活用して効果を予測

問 これから柴田町が行う事業に市場調査の感覚を生かした分析を導入したい。
費用対効果や経済波及効果を数値であらわし、事前予測や事後の評価に活用すべきでは。

答 住民満足度や業績対効果が明らかになりやすい、例えば上下水道事業やごみ処理、公の施設の管理や産業振興施策といったものには、市場分析手法の導入はできるのではないかと思う。

来年度の予算で観光客の動向や観光事業の正確な分析、評価を行い、柴田町の観光事業の実態を数値であらわしたい。

問 できれば、精度の高い、直接効果も間接効果も含めた、柴田町特有のデータもこれからつくっていく必要があると考えているか。

答 実際にはかなり緻密な計算が必要になる。長野県小布施町では観光経済波及効果測定調査を平成21年にしたが、消費動

向について聞き取り調査をし、平均消費額を設け、最終的に産業連関分析により波及効果を算出した。この産業連関がかなり難しく、手間がかかる。今の段階では検討も含め導入を考えていきたい。

問 調査会社によるセミナーを活用しては。

答 平成23年度から、システムの制度設計から準備を進める。



星 吉郎 議員

Q 槻木南浦地区の冠水対策をどのように進めていくのか

A 四日市場排水機場への分水門を23年度に設置する



分水門が設置される名取用水(稲荷山用水)

12月22日の集中豪雨では、槻木下町周辺、槻木郵便局周辺、山崎製パン工場周辺、葛岡地区周辺が、これまでにない冠水となった。今後どのように進めていくのか。

問 12月22日の集中豪雨の雨量はどのくらいで、当日の対応はどうだったのか。

答 22日昼から午後4時にかけて激しい雨が降り、降り始めからの降水量は24時間の総雨量が151ミリとなり、時間当たりの最

大雨量は22日午後2時から3時まで38ミリを記録した。町内12地内の低地部が面的に冠水し、一時通行ができなくなった。午後3時に災害対策本部を設置し、被害状況の調査と情報の収集に努めた。

問 槻木南浦地区の冠水対策はどのように行い、全体事業費と年次計画はどうなるのか。

答 槻木地区においては、名取用水への速やかな排水が重要であり、定期的な点検維持管理を行い、

冠水の早期解消を図っていく。また、冠水対策の一環である名取用水路への分水促進機能強化のため、四日市場地内用水路分水門設置実施設計委託料と工事費を平成23年度当初予算に計上し、年度末の完成を予定している。



佐々木守 議員

Q 社会資本総合整備計画
(市街地整備)の内容は

A 国の交付金制度の
最大限活用を図る



船岡城址公園から望む市街地

問 社会資本総合整備計画(市街地整備)は花咲山構想に新たなものが加えられたのか。

答 社会資本総合整備計画(市街地整備)は、美しく質の高いコンパクトシティの一つの要素である公園の整備を中心に、船岡城址公園回遊ルートと一目千本桜回遊ルートとを結ぶ桜回廊を整備し、船岡市街地の新たなにぎわいの再生を目指すとともに、美しい花のある都市空間を創出して、魅力

あふれる景観をつくるための具体的な整備手法を定めたもの。船岡市街地が抱える課題解決のため、今取り組むべき事業を拾い上げて、国の交付金制度を最大限活用する計画。

問 花咲山基本構想は交流人口を増やすことにより町の活性化を図るのが目的で、そのためには地域の魅力や個性、イメージといった要素を強化し、高め、発信していくことが必要であると言われるが。

答 ハード面の整備だけでは、持続的に交流人口を増やすことはできないと考えている。しかし、観光を振興する初めの段階は、全国に誇れる、ここにしかない地域資源に磨きをかけていく核づくりが必要。花咲山としての船岡城址公園や周辺のハード整備が大変重要になってくると考えている。



水戸義裕 議員

Q 定住人口誘致に
重要なことは

A 快適な生活空間が
整備されていること



樅の木から白石川を望む展望デッキを整備

問 第5次総合計画が今年から始まり、ずっと住みたい町、住んでみたい町となるに足る計画であるものと期待する。

全国的にも定住人口誘致に向けた地域間競争が激化している中、人口誘致に向けてどんなまちづくりが重要と考えるか。

答 まず、住み続けたいと思うまちづくりが重要。一つには企業誘致による雇用。二つには子育て、教育、福祉、医療などの快適な生活空間が整備さ

れていること。三つ目は、交流人口を増やすことなどではないかと考えている。

問 交流人口を増やすには観光交流も大事。町もそのために各種の事業を打ち出しているが、観光だけが交流人口ではなく、通勤通学、買い物、文化鑑賞やスポーツなどもある。文化面で今の施設や仕組みなどではどう考えるか。観光事業は種まきも大事なことだが。

答 文化面の交流では施

設の古さと数の不足は否めない。今後ソフト面などを含め進める。交流人口誘致には観光が重要。観光物産交流館、樅の木の展望デッキ、樅木北部の里山ハイキングコースの整備など、今年は観光元年として積極的に観光戦略を展開する。観光も宴会型から個人型へと変化している中で、柴田ならではの事業を実施していく。



広 沢 真 議 員

Q ゴミ有料化について
周知と合意は
できているのか

A 周知の努力はしてきたが
さらに努力する



毎年行われている柴田町環境フェア

仙南広域行政事務組合でゴミの有料化が議論されてきたが、先日の広域議会で有料化が可決された。仙南広域の構成自治体によって周知と合意形成の努力がまちまちで、明らかに情報が不足しており、有料化を実施するのは早計だと考える。町民からの問い合わせが増えるのは必至である。

問 町としての今後の周知の考えはあるか。
答 学校単位で行われるプラスチック製容器・包装類の分別収集の説明会で周知するほか、各行政区単位の説明会、出前講座などを行っていく。
問 今後町のごみ処理の業務はどう変化するのか。
答 ゴミ袋の製造から手数料の徴収まで仙南広域事務組合で行うため、町の業務が増えることはない。

問 ゴミ有料化で町に還元される額は。
答 市町のごみの投入量に応じて総手数料を按分して決定される。
問 町が拠出しているゴミ処理の負担金などは変わるのか。
答 有料化が始まる1カ月前の平成23年9月からの試算では、販売総額のうち、柴田町分が2千800万円、そこから袋の製造費、流通経費、販売手数料、事務費など必要経費約1千300万円を差し引いた手数料総額1千500万円を、町の負担金から差し引いて組合に納めることになる。



安 部 俊 三 議 員

Q 総合体育館建設を
どう考えているか

A スポーツのまちづくりを進める上で
必要不可欠と認識



昭和45年に建てられた町民体育館と船岡公民館

問 柴田町民体育館を今後どうしていくのか。
答 スポーツの拠点施設となり得る総合体育館建設を急ぐべきと思うがどうか。
問 現町民体育館並びに総合体育館建設は、スポーツのまちづくりを進める上で必要不可欠の整備項目と認識している。今後、将来像や方向性、整備手法を調査研究し進めていく。

問 柴田町民体育館を耐震補強し、大規模改修することは、得策ではないと思うがどうか。
答 リニューアルするより、将来的に新しくするという方法がよいのではと考える。
問 船岡公民館と大型児童センターとの併設を現在の町民体育館に設置する考えはないか。
答 町民体育館も含め総合的に体育施設、生涯学習施設の今後のあり方を検討していくべきと考え。児童センターの併設については、内部調整する。

問 総合体育館建設のため、基金を積み立てるつもりはないか。
答 議会では基金を造成し、定期預金をしてよいという総意があれば可能であると考える。
問 総合体育館建設地として、トッコン跡地を先行取得できないか。
答 先行取得のための借金を、議会と執行部がだれ一人反対でなければ可能と思う。

AE Dは、平成16年7月から医療従事者だけでなく一般の人でも使用が可能となり、公共施設や民間施設への設置が進んできた。本町においても公共施設への設置が進み、民間施設も含めたAE Dの機器を見る場面が増えてきた。しかし、いざというときAE Dが身近にない、あるいはあっても使えないということがないように備えが必要である。そこでAE Dの普及啓発について伺う。



有賀光子 議員

Q A E Dの普及啓発を

A A E Dの貸し出しに向け準備を進める



スーパーにも設置が広がるAED

問 イベント等住民が多く集まる催しで、心停止者に対して早期の救命手当が行えるように、AE Dの無料貸し出しに取り組むべきと考えるがどうか。

答 平成22年10月現在、本町におけるAE Dの設置台数は62台。このうち町関係は役場の町民ホールに1台。槻木生涯学習センターに1台。柴田球場に1台。小学校に6台。中学校に3台。地域福祉センターに1台の合計13

台が設置されている。今後、救命講習会の開催や救命体制の整備を図るため、町民を対象とした各種イベント等の主催者に、AE Dの貸し出しに向け準備を進める。

問 AE Dの設置場所がわかるマップを作成すべきと考えるがどうか。

答 AE Dの設置関係機関の方々と協議し、AE Dの設置マップの作成について検討していく。



佐藤輝雄 議員

Q 町の将来は観光か、福祉か、住民の声は

A 観光振興に重点



観光振興のかなめ「一目千本桜」

問 安全面からいえば昨年の槻木の水害や、そのたびに議会で問題になる山崎パンの移転すら心配である。福祉面であれば、海老穴の第二常盤園が完成しても大勢の待機者がいる状況にある。町長は観光に力を入れるとしているが、町の行く末は。

答 第5次柴田町総合計画において、観光振興に重点を置き、心おきなく展開するには、その礎となる安心・安全ネットと防災基盤をしっかりと構

築することが重要。アンケート調査の住民の声として観光振興は45項目中第6位だった。

問 その調査の第1位は健康・福祉だった。観光振興で観光客を10万人増やして6億円の経済効果というが、そのバックデータの説明を。

答 議会の了承があれば来年度の予算で実数に近い客数と経済効果など推計できるよう市場分析調査を実施したい。

問 住民自治によるまち

づくり基本条例第24条「行政運営における情報共有の促進」、第25条「行政運営の透明化」、第26条「行政運営への参加の促進」をうたっているが、つり橋に6億円。町民に相談はあったのか。

答 総合計画策定の中で、地区懇談会時に話をしていく。ただし、国へ補助申請中の社会資本総合整備事業の関係がまだ確定していないため、今は住民に説明できないでいる。

一般質問

問 平和塔の欄干破損整備はいつごろになるか。
答 戦没者慰霊にと柴田町遺族会が建立したもので、政教分離で町の所有ではないことから、今後の修繕については、遺族会が対処していきたい旨の話をいただいている。

問 三の丸のスロープはどのように整備するのか。
答 コンクリートで車いすも利用できるような設置。

問 色落ちのひどい遊具の塗りかえは行うのか。
答 3月中の完了を予定。

問 三の丸広場の水はけの整備はどう考えているか。
答 ぬかるみの発生防止に砂などを敷き対応する。

問 町のシンボル平和観音像土台の腐食で本体も危険な状態。整備の考えは。
答 現場等は把握しており、塗装も含め検討する。

問 県道大河原から館山2号線に入ると公園までの歩道が途切れ、車道を歩くことになり危険が伴う。整備の考えは。
答 現場を見て検討する。

問 現場を見て検討する。
答 郵便局前通りの側溝の穴で2件の負傷事故が発生。県への要請を。

問 現場を見て検討する。
答 県と話し、なるべく早い整備の方向で詰めた。

問 公園全体が暗く、ルートを含め街灯の整備は入れながら計画したい。
答 葛岡公園事件も頭に

Q 行き届いた整備で観光客の誘致を



佐々木裕子 議員

A 美しい環境の中で恥ずかしくないおもてなしをする



きれいに整備された遊具(船岡城址公園)

掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

大坂三男 議員

問 第5次柴田町総合計画に従来設定した待機事業は盛り込まれたか。財政的に実施可能か。
答 待機事業は実施可能。新たに公園整備、体育館、図書館等の要望もあり、今後の検討課題。

舟山 彰 議員

問 監査委員から「学校の遊具類で使用禁止の器具が見受けられた」との指摘があるが。
答 指摘に対応し、撤去、修繕を完了するようにする。

問 柴田町の客観的評価（水準等）の1つとして、町内の病院数、医師数、病院の種類は。
答 仙南医療圏で見ると、医師不足と偏在の解消が緊急の課題である。

佐久間光洋 議員

問 昨年12月のゲリラ豪雨、同時多発の豪雨に対する備えはあるか。
答 ソフト・ハード両面の対策を講じ、関係機関と連携してすばやい情報収集に努める。

森 淑子 議員

問 本格的図書館建設に向け図書館建設基金に計画的に積み増しを。
答 地方交付税の動向を見て、減額等がなければ24年度からの積み立ては視野に入る。

白内恵美子 議員

問 子どもたちが豊かな体験ができる放課後を過ごすための仕組みづくりが必要ではないか。
答 生涯学習センターで放課後の居場所づくり、北船岡では放課後支援事業を行っている。

問 町が建設を考えている児童センターのあるべき姿が明確になっていないのではないか。
答 乳児並びに子育て中の家族、幼児、小学生を対象とした大型の児童センターとしたい。

佐々木守 議員

問 12月22日の集中豪雨の被害状況は。
答 道路、河川52件、被害総額1,122万円。農道、林道21件総額1,590万円。

有賀光子 議員

問 子育て支援の一環として、赤ちゃんの駅を図書館に設置してはどうか。
答 お湯の提供、おむつがえに対応している。今後、簡易ベビーベッド等の設置を検討したい。

佐藤輝雄 議員

問 平成23年度実施のデマンドタクシー、アウトソーシングまでして遅れるのは納得できない。
答 タクシー会社との交渉が一番難航している。結果、23年度準備、24年度試験運行。

常任委員会レポート

各常任委員会は
年4回各課の仕事を
調査しています。

総務

■日時 平成23年2月3日・4日

■調査内容

- ・財政計画状況と実施計画の今後の見通し
- ・町営墓地の管理と現況
- ・みやぎ環境税導入に係る柴田町の取り組み
- ・(仮)仙南クリーンセンターの建設候補地と各衛生施設の計画内容
- ・巨理町民バス「さざんか号」(視察)

地域特性に合致した 公共交通システムの導入を

《まちづくり政策課》

これまで丸森町、東松島市、巨理町の公共交通システムの視察調査を実施してきた。システム導入にあたっては関係機関・団体と協議を行い、要望の多い他町への乗り入れの実現性を考慮したうえで、本町の地域特性に合致した公共交通システムの導入に向け努めること。

《財政課》

国の制度変更にも柔軟に対応して健全財政を維持すること。また、財政計画は、実施計画との整合性を図る観点から情報の共有を広く図ること。

《町民環境課》

町営墓地の使用について、受けつぐ人がいない場合の墓地の取り扱いや「無縁墓地」の設置について対策を検討すること。

文教厚生

■日時 平成23年1月12日～14日

■調査内容

- ・母子保健事業と国民健康保険事業の現状
- ・母子生活支援施設山下荘の運営状況
- ・船岡中学校校舎耐震補強工事
- ・仙南けやき教室の運営及び施設状況(視察)
- ・巨理町中央児童センター(視察)
- ・白石市ケアハウスやまぶき(視察)

支援が必要である母子の兆候を見逃さないことが重要

《健康推進課》

各種健診の活用を図り、母子の兆候を見逃さないことが重要であることから、関係課との更なる情報共有及び業務の連携に努めること。

《子ども家庭課》

・母子の保護と自立支援のため「山下荘」の重要性が高まっている。町単独の運営には限界があり、施設修繕などの支援策を県へ要望すること。

・大型児童センター建設の構想策定では、町民の意見を取り入れた形態となることを強く要望する。

《教育総務課》

「仙南けやき教室」は、不登校児童生徒の学校復帰を促すという開設目的を、町内の小中学校教育関係者に再度周知し、活動状況を理解してもらいたい。

産業建設

■日時 平成23年1月24日・25日

■調査内容

- ・観光物産交流館の工事進捗状況
- ・二本杉町営住宅2号棟の新築
- ・22年度道路改良工事の進捗と12月22日の降雨による町内道路の冠水状況
- ・仙南地域職業訓練センター(視察)
- ・柴田特産品加工組合(視察)

観光客等を迎えるにふさわしい 景観の確保整備を

《商工観光課》

観光交流物産館の完成後は、観光客等を迎えるにふさわしい、駐車場を含めた景観の確保整備に努められたい。

《都市建設課》

・北船岡町営住宅2号棟の建設にあたっては、1号棟に関して寄せられた苦情や要望を精査し、改善策を取り入れること。

・槻木市街地の浸水対策は、稲荷山用水から四日市場排水機場への導水路に直結する水門の設置など、早急な対策を強く要望する。

・降雨による冠水状況の正確な情報収集に努め、素早い初期活動体制がとれるように、担当課を越えての更なる業務の連携にあたること。

あなたの一言



水戸 忠孝 さん
(船岡東4丁目在住)

未来へ向けて

●柴田町に住んで感じたことは

柴田町に住んで40年近くになります。子ども会・スポーツ愛好会等、皆様のチームワークのすごさに感心しました。

会社勤めの後半は仕事中心の生活でしたが、これからは皆様と協力し、地区や地域に少しでも貢献できたらと思います。

●柴田町の好きなところ

何となくとも桜でしょ。白石川堤防の桜並木はどこにも負けない自慢できる宝物だと思います。

●町に暮らすこと

このたびの地震災害で道路の

凹凸が結構目につきます。

当町も高齢化社会が進んでいます。

予算もあるでしょうが、早急に対応をお願いします。

●議会だよりを読んでいますか

新人議員さんの活躍ぶりが気になり、よく目を通すようになりました。大変読みやすくまとめていると思います。

●議会・議員に望むことは

どこの町でも同じ現象でしょうが、年配の方が増えています。町民の皆様が安心して暮らせる町づくりをお願いします。

◆編集後記◆

東日本震災で被災したすべての方にお見舞いを申し上げます。また亡くなられた方々へ哀悼の意を表します。



震災後初めての議会広報の編集です。

3月定例議会開会期間中の震災で、議会日程は大きく変更され、今回の議会広報もどうまとめるかが大きな焦点でした。

本会議開催中の記事も初めてのドキュメント風ルポルタージュスタイルの記事として盛り込んでみました。余震が続く状況での議会の緊迫した様子が伝わったでしょうか。今回の132号の記事中でも一般質問や総括質疑などは震災前。23年度当初予算の採決や追加議案などは震災後です。

今回から編集委員のメンバーは後半2年間のスタートです。町民の皆さんに元氣をお届けできるような紙面を目指します。

議会広報常任委員長 広沢 真

ぜひ、議会の傍聴を!! お待ちしております!

第2回定例会は

6月20日(月) 午前9時30分開会予定

一般質問は

6月20日(月)・21日(火)・22日(水)の予定

※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせ下さい。

町ホームページ 本会議審議等結果を掲載
各種会議の出欠状況

町ホームページ内、「行政・まちづくり」の中の「町議会 議会だより」「議会のうごき」に、委員会・全員協議会の出欠状況もあわせて掲載しています。

柴田町のホームページ
<http://www.town.shibata.miyagi.jp>